

かなえ

第16号(平成25年3月1日)

医療法人社団鼎会 八柱三和クリニック

千葉県松戸市日暮1-16-2 日暮ビル2階 047-312-8830

<http://www.yabashirasawa-clinic.com>



2月の中旬、矢切のスケッチ取材で土手沿いに歩を進める。ここ矢切の渡しの土手を越えると農家が2〜3軒あり、裏手に小さな小川がある。今は川に水も少なく、小川に写る農家もはっきりと見えない。いつも描いている風景であるが今回もここで一枚仕上げしてみる。枯れた雑草の赤色が良い。パーントシエンナにオレンジを混色。少ない川の水も風景をなんとか写している。遠くの北総線が高架の上を通過していった。5月の声をきくと田に水が入り、この小川が農家を写して素敵な世界に変わる。そして子供達のザリガニワールドの世界になる。この四季は自分がもっとも気に入っているスケッチの場所の一つである。

絵と文 : 松戸市在住 水彩画家 菅谷功氏

乳房を美しく残すために 乳腺外科 渡辺 修

日本人女性が生涯で乳がんになる確率は年々増加傾向にあり、今や16人に1人といわれています。アメリカではなんと8人に1人。私が16年前ニューヨークに留学していた時に朝のテレビで乳がんの話題が出ない日はないくらいアメリカでは関心が高かったのを覚えています。日本ではまだそこまでではないものの年々関心が高まって、特に10月のピンクリボン月間になると検診を受ける方の数は倍増します。

乳がんの手術として全摘せず乳房を残す「乳房温存手術」が日本で広まってから20年が過ぎました。最初の数年間は適応条件を厳しくしながら慎重に進めていき、次第に適応も広がって今では乳がん手術の60%程度を占めています。適切に行えば乳房温存手術は安全であることは証明されたものの、美容面についてはあまり重要視されてきませんでした。外科医は「がん」を治すために大きく切除してきましたので、当然美容面が犠牲になるわけです。一昔前の先輩外科医が「局所再発は外科医の恥だ！」と言ってきたからなおさらです。後の研究で局所再発(手術した付近に再発すること)は必ずしも取り残しが原因ではないことが明らかになったのですが…。結果、乳房の形が変形して大きな凹みができてしまっても、外科医も患者さんもがんを治すためだから仕方がないと目をつむってきたのです。しかし、同じ治すのであれば美しく治したいというのが女性の希望であることは間違いありませんし、手術後の乳房の形というのは患者さんのその後の心理面にとっても大きな影響を与えます。70代の女性で私が手術した方が、毎日お風呂の時に自分の乳房を鏡でみて手術したと思えないくらい綺麗なのでとても嬉しくて幸せを感じると話してくれたことがあります。あらためて女性に年齢は関係ないことを教わりました。

小さく切除すれば美容面はよくなりますが、肝心の根治性(がんを治すこと)が心配になるわけで、根治性と美容面を両立させることは簡単ではありません。私は、20年あまり乳房温存手術をやってきて、さまざまな乳がんの特性がわかってくるにつれて手術方法を改良してきました。2007年より乳輪切開法という方法でしこりと離れた部位を切開して、特殊な道具を駆使しながら手術する方法を開発・改良してきました。その結果、今ではか

りの高いレベルで根治性と美容面を両立させることが可能となりました。ひとつの企業秘密を明かしますと、不必要な皮下脂肪の切除を極力なくして必要な乳腺組織はしっかり切除することです。乳房組織の約70~90%は脂肪組織なのです。この着想を持ってしかも乳輪切開法で手術を行っている乳腺外科医は実はまだ多くありません。このような背景から、乳腺外科医と形成外科医が一堂に会して、乳房の整容的根治術や再建について討論し、我が国で乳がんおよび乳腺疾患の手術を受ける患者の福祉に貢献する目的で本年「日本乳房オンコプラステックサージェリー学会」が設立されました。この9月に第一回の総会を開く予定です。オンコプラステックサージェリー(オンコ=がん、プラステック=形成・美容、サージェリー=手術):今では美容面を重視しながらがんを治す時代なのです。

「がんを治すのだから見た目なんてどうでもいい」と自分に言い聞かせなくてもいいのです。

昨年1年間で149例の乳がん手術を行いました。乳房温存手術を行った方は127例で乳房温存手術の割合は85%と非常に高くなっています(グラフ)。1年間の手術数149例がどの程度の数かという、千葉県内で1年間に200例以上手術している病院が、亀田メディカルセンター・千葉県がんセンター・国立がんセンター東病院・千葉大学病院の4施設ですが、それに続く数です。今は手術を新松戸中央総合病院で行っているため手術日などの制約がありますが、来年「三和病院」ができたらもっと手術できるようになるので手術するまであまりお待たせすることなくより多くの手術が可能となる予定です。

乳癌手術症例の推移



乳腺チームの紹介

1. 乳腺チームとは？

各専門スタッフが連携し、患者一人ひとりにとって最善の医療を行うことが「チーム医療」です。当クリニックでは、乳腺に関わる職種が集まり乳腺チームが出来ています。

2. どんな職種で構成されどんな役割を担っている？

乳腺専門医の渡辺修医師を中心に、看護師・薬剤師・診療放射線技師・エコー技師で構成されています。その他に、読影医もいます。

3. 心がけていること

各スタッフがチームの一員であることを意識し、1人だけが頑張るのではなくチームとして患者を支えることを心がけています。

そのために、診療放射線技師・エコー技師は、特に患者さんと接する時間が少ないのでカンファレンス等で情報交換することでお互いのコミュニケーションをしっかりとっています。

4. 八柱三和クリニック、乳腺チームのよいところ

チームスタッフには、乳腺専門医の渡辺修医師がいるので最新の知識や治療の現状を知り得る事が出来ます。この事で、クリニックは、小さいですが乳癌治療に関しては有名な大病院にも負けず劣らずだと自負しています。スタッフは少ないですが情報共有はし易く、明るいスタッフばかりなので患者さんの身近な存在となり、アットホームな雰囲気の中で安心して治療を受けられるのが良いところだと思っています。

5. 患者さん、地域の方々へのメッセージ

クリニックには、現在は入院施設はありませんが、診断から治療・緩和ケアまで他の施設と連携を持ちながら責任を持って治療にあたっていますので安心して受診して下さい。

また、何か心配なことがある方も遠慮なくご相談ください。

お待ちしております。



3月になりました

医事課 福岡 園子

春分の日も近くなり、真冬に比べてずいぶん日が長くなりました。まだまだ寒いですが朝夕の通勤時間帯の明るさは少しうれしく感じます。

3月は年度末なので様々な節目があり、あわただしく過ぎてしまっていますが、思い出されるのは2011年3月11日の東日本大震災です。

千葉県内でも浦安市など液状化で大きな被害がありました。水道やガスが止まり、下水道が使えない地域もありました。広い範囲で計画停電もありました。普段の生活がとても便利で快適だということを実感しました。

あれから2年が過ぎ、かなり復旧しましたが、東北の復興はまだですし、原発事故も収束していません。早く皆が笑顔で桜の季節を迎えられるようになって欲しいと思います。



スタッフ紹介

今回は看護師主任の南雲朋子さんです。



1. 看護師を目指したきっかけは？

伯母が看護師長をしていたのがきっかけです。

私は幼い頃よく熱を出し、伯母が働いている病院にお世話になっていました。

私には病院で働いている伯母が素敵に見えました。優しく、明るくて、暖かい。その上パワフル。(伯母は、定年後、原付バイクの免許を取り地域新聞に載った人です。)気付けば看護師になることに憧れていました。

思い起こせば、幼稚園の卒園アルバムに書いた夢は《かんごふさん》でした。

2. 看護師の魅力は？

人の役に立てるのが大きな魅力だと思っていました。しかし、最近は、看護師に出来る事なんてたかが知れているなあと感じています。今は、患者さん自身が病気に立ち向かっていく強さを見て、人間のたくましさを感じます。患者さんから様々なことを教わることの方が多いことを知りました。

患者さんだけでなく、患者さんを取り巻く周りの人たちと一緒に喜び、悲しみ、悩み、考え共感できる事は大きな魅力だと感じています。

3. 心がけていること。目指している看護。

忙しい時こそ落ち着いた態度でいること。いつでも話しかけやすい雰囲気です。心掛けています。

患者さんが、どんなに悩んでも自分の目標を自分で納得し、決めていけるような手助けをしていくことが出来れば良いなあと考えています。



八柱三和クリニック診療医師担当表

| | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|-------|----|----------------|-------|--------|------|---------|-----------------|
| 乳腺外科 | 午前 | 渡辺 修 | 渡辺 修 | (手術) | 渡辺 修 | 渡辺 修 | 渡辺 修 |
| | 午後 | 渡辺 修 | 渡辺 修 | | (手術) | 渡辺 修 | |
| 整形外科 | 午前 | | | | | 浅野健一郎 | 早田浩一朗 (2, 4) |
| | 午後 | 小酒井治 (2, 4) | | | 小林洋平 | 浅野健一郎 | |
| 内科 1 | 午前 | 斉藤丈夫 | 斉藤丈夫 | 斉藤丈夫 | 斉藤丈夫 | 斉藤丈夫 | 斉藤丈夫 |
| | 午後 | 斉藤丈夫 | | 斉藤丈夫 | (在宅) | 斉藤丈夫 | |
| 内科 2 | 午前 | 渡辺聡枝 | 渡辺聡枝 | 渡辺聡枝 | 渡辺聡枝 | 渡辺聡枝 | 杉崎良親 |
| | 午後 | | 仲野総一郎 | 渡辺聡枝 | 渡辺聡枝 | (高林克日己) | |
| 内科 3 | 午前 | 鈴木明子 | 鈴木明子 | 鈴木隆弘 | 鈴木明子 | | 高林克日己 |
| | 午後 | 鈴木明子 | 鈴木明子 | 藪下寛人 | 鈴木明子 | 鈴木明子 | |
| 胃カメラ | 午前 | 渡辺英二郎 | | (鈴木明子) | | 鈴木明子 | (渡辺聡枝) |
| 大腸カメラ | 午後 | 渡辺英二郎 | | (鈴木明子) | | (渡辺聡枝) | |

編集後記

病院建設に向けての議論が進むうちに、スタッフひとりひとりの持っているエネルギーがどんどん強くなっています。このエネルギーをまとめて事に当たれば、私たちにとっては大事業である病院建設もスムーズにクリアできるのではないかと思います。そして魅力的な病院であれば、地域の方や関連業者の応援を得られ、患者さんも、スタッフも集まってくると信じています。皆さんに理解していただき、お力をお借りすることができれば、さらに大きなエネルギーになります。前向きなエネルギーを大きく育て、よい病院を作れるよう全力で取り組んでいます。

総務: 中野三代子